

9議員が町政を^{ただ}質す!!

～3月議会定例会を開催～

聖籠町議会では、3月議会定例会を3月5日から18日までの間開催します。

10日と11日は、議員が町の問題を^{ただ}質す一般質問が行われます。

この機会にぜひ議会議場（役場3階）へ傍聴においでください。

[一般質問] 場所－役場3階 議場
時間－午前9時30分から

◆ 1日目 3月10日（月）

長谷川（六）議員・斎藤議員・田中議員
中村議員・川上議員

◆ 2日目 3月11日（火）

栗原議員・手嶋議員・長谷川（進）議員
青木議員

◆お問い合わせ◆ 聖籠町議会事務局 Tel 27-1967



一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1	[8 番] 長谷川 六男	1 指定避難所(町民 会館及び学校体育館) に空調設備を導入する ことについて	いつ起こるか予測がつかないのが、地震災害である。1995 年の阪神・淡路大震災、2004 年の新潟県中越地震、2011 年の東日本大震災、2024 年の能登半島地震と過去 30 年の間に大きな地震が複数あった。大地震による防災意識が高まっているところだ。これらの地震に共通するところは、いずれも最大震度 7 を記録したところがあったという点ではないか。最大震度 7 を記録した地域では、ほとんどの家屋が倒壊するなどして、大勢の人が体育館など指定避難所に避難を余儀なくされた。 特に空調が設置されていない学校体育館の大半は、断熱性能も確保されていない。そのため、夏場は蒸し風呂のような暑さになり、冬場は凍えるような寒さとなることから、こうした時期に避難所として使用することを考えると、被災者の健康確保も難しくなることと思う。国も避難所となる体育館の空調整備を加速する方針を示している。また、整備されれば夏の教育現場での熱中症対策にも活用できる。町民の安心、安全、命を守るためにも、早期に体育館の空調整備を進めていくべきと考えるが見解を問う。	町長
		2 带状疱疹ワクチン 接種助成について	令和 5 年第 4 回定例会でも、同僚議員が質問している。その当時、県内の市町村で任意接種での助成は、2 市 1 村だった。しかし、現在は 15 市町村に増えている。その時の町長の答弁では、「他の事業と比較しての優先度が高いかどうか、また、町民からの要望が高いのかどうか、助成することで多くの町民の利益につながるかどうか、総合的に判断する必要がある。」また、「町内の要望の状況や、今後さらにほかの自治体の動向などを注視しながら、助成の必要性について検討していく。」と答弁している。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1	[8 番] 長谷川 六男	2 帯状疱疹ワクチン 接種助成について	隣の新発田市では昨年の4月から50歳以上の人に、任意接種助成を始めている。町内での発症者数は把握できていないが、新発田市が任意接種助成しているのに、なぜ、町は任意接種の助成金を出さないのかという新発田市と比較した声が上がっている。厚生労働省は、令和7年度から、65歳になった高齢者などを対象に「定期接種」を始める方針を決めている。発症率が50歳以上から上がると言われている帯状疱疹の任意接種費用の助成を町でも行うべきではないか。	町長
2	[4 番] 斎藤 豊	1 東港に隣接する 蓮野長峰山地区 蓮潟長峰山地区 蓮潟長峰山第2地区 について	当該3地区は東港工業地帯を補完する業務施設などの開発を誘導することで新潟東港工業団地と一体となり活性化を促進する目的で整備・開発された。 (1) この地区への企業の進出状況は。 (2) 企業が進出を予定する場合の相談窓口は開発業者か町か。 (3) このエリアは新潟東港工業地帯となるのか。	町長
		2 学古堂について	学古堂は、中学生の進路実現のため、学習内容の定着に不安がある生徒や主体的に学習に取り組むことが困難な生徒などに学習サポートを提供する事業である。 (1) 令和7年度の具体的な内容はどのようなものか。 (2) 「夏を制する者は受験を制す」という言葉が有る。進路実現のため、夏期特別講座を開設してはどうか。	教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
3	[10 番] 田中 智之	1 医療的ケア児に対する支援の現状と課題に、どう向き合うか。	先般、文部科学省は、医療的ケア児の対応に関し教育委員会のガイドライン（指針）策定の支援を進めることを決めた。医療的ケアの必要性や緊急時の対応方、「ヒヤリハット事例」など指針に盛り込むべき内容が明示されたひな型を 2025 年度中に策定し、各教育委員会に策定を呼びかけるということだ。2021 年施行の医療的ケア児支援法では当事者と家族の支援を自治体の責務と定めている。その後、本町でも支援を要望するケースが発生したが、その際、町は具体的な支援は行わず、また議会もその陳情を先送りにしただけで、双方結局は責任を果たさないまま現在に至っている。私見だが、これは聖籠町の福祉行政において大きな汚点である。 指針の策定状況だが、2023 年時点で全国 1815 の教育委員会のうち 394、約 5 分の 1 の教委しか指針を策定していない。医療的ケア児が在籍する 644 の教委に限っても、策定済みは 349 と半数程度である。この現状を受けて文科省が指針策定を支援するという流れであるが、本来は各自治体と各教委がもっと当事者とその家族に寄り添って進めるべき事案である。そして何より医療的ケア児とその家族が笑顔で生活できる町や地域をつくることが行政の務めである。 以上を踏まえて質問する。 （１）本町における医療的ケア児の人数を把握しているか。 （２）教育長は令和 3 年第 4 回定例会で、仮称「医療的ケア運営協議会」を設置し総括的な管理体制を構築する必要があると発言した。現在の運営協議会の活動状況を問う。 （３）本町では医療的ケア児の対応に関するガイドライン策定は済んでいるか。	町長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
3	[10 番] 田中 智之	1 医療的ケア児に対する支援の現状と課題に、どう向き合うか。	(4) 町長は令和 3 年第 4 回定例会で、「学校現場での医療的ケア児の受け入れには看護師の配置など財源措置の問題がある。その点に関して県にも要望したいし町村会として国に要望したい」と発言した。県、国への要望は既に済んでいるか。 (5) 令和 5 年 12 月、新潟県議会に「県内各地域での医療的ケア児等のレスパイト受け入れ先の確保に関する請願」が提出され採択された。しかし現状は利用可能な事業所がまだまだ少なく親の負担は重い。町長には聖籠町として、また県の町村会として医療的ケア児の受け入れ施設の整備を県に要望して頂きたいが、どう考える。	町長 教育長
		2 令和 6 年度末の財政調整基金残高はいくらを見込んでいるか。また令和 7 年度末の町債の残高見込みは、総額、会計別でそれぞれいくらか。	平成 30 年の町長選挙において、西脇町長は本町の財政を「借金 100 億、貯金は 5 億」と、ほとんどの町民が知らなかった町財政の現状を明らかにし財政改革の必要性を訴えた。また令和 3 年第 1 回定例会の一般質問への答弁では、年度末の町債残高見込みを 79 億 1230 万円、年間で約 2 億 8 千万円の減少となったと答弁した。このように町の起債、つまり借金が減るのは豊かなまちづくりを目指すためには喜ばしいことで、今後も身の丈に合った健全な財政運営を望むところだ。そこで質問する。 令和 6 年度末の財政調整基金残高はいくらを見込んでいるか。また令和 7 年度予算により年度末の町債残高見込みは、総額、会計別でそれぞれいくらになるか。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁者
4	[1 1 番] 中村 恵美子	1 交通安全対策について	(1) 令和 7 年 1 月 28 日埼玉県八潮市で下水道管の破損に起因すると考えられる道路の陥没事故があった。 町内を車で走っていると、道路の表面が剥がれているところなどもあり、危ないと感じるときがある。雪がとけて春になったら、点検を行い修繕するべきと考えるがどうか。 (2) 道路の停止線、道路標示、標識なども薄くなっている箇所もある。交通安全の面から、町で対応できるところと県などに要望する箇所もあるが、それぞれ点検して対応を図るべきと考えるがどうか。	町長
		2 地震対策について	政府の地震調査委員会が令和 7 年 1 月 15 日に公表した評価結果で、新潟県の「長岡平野西縁断層帯」でマグニチュード 8 程度の地震が 30 年以内に発生する確率が、2024 年までの「2%以下」の A ランク（やや高い）から、「3%以下」の S ランク（高い）に引き上げられた。県内では最も大きな地震被害をもたらす恐れがある断層とされており、専門家は災害への備えを改めて確認するよう呼びかけている。 長岡平野西縁断層帯は、新潟市の沖合から小千谷市にかけて延びる約 80 キロの活断層である。県の想定によると、この断層が動くと上中下越の広い範囲で震度 7 の地震が起こる可能性がある。その際の死者数は約 8 千人、避難者数は最大約 47 万人と、地震による被害が県内で最も大きくなるとされている。 NPO 法人日本防災士会県支部の成川一正事務局長は、発生確率の高低にかかわらず「備えの必要性は一層高まっている」と強調。水や食料のほか、照明器具やバッテリー類なども用意し、「最低 3 日間は自助で過ごせるよう備えることが重要だ」とする。このことを踏まえて質問する。 (1) 町の被害想定を再認識し、備えについて確認と充実を行うべきではないか。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
4	[1 1 番] 中村 恵美子	2 地震対策について	(2) 国の令和 6 年度補正予算で新設された「新しい地方経済・生活環境創生交付金地域防災緊急整備型」のうち約 100 億円が、3 月下旬に交付決定の予定である。本町の申請状況、実施計画はどうか。 (3) 内閣府の「自治体向けの避難所に関する取組指針・ガイドラインの改定について (令和 6 年 12 月 13 日)」の具体化はどうか。	町長
		3 母子政策について	子ども家庭庁は、5 歳児健診を令和 10 年度までに全国自治体での実施を目指すとして支援を強化している。本町の 5 歳児健診の実施に向けた見通しは、どうか。	町長
5	[1 番] 川上 りな	子育てについて	近年、町では共働き家庭や子育て世帯の増加に伴い、育児や家事をサポートする制度の重要性が高まっている。しかしながら、現状では私たちの町にはファミリーサポート事業が存在しておらず、特に子育て中の家庭にとっては、地域でのサポートが不足している状況である。このような現状に対し、何点か問う。 (1) ファミリーサポート事業の必要性について 町内には共働き家庭や子育て中の家庭が多く、日常生活における支援が求められている。特に、育児や家事の負担軽減を目的としたファミリーサポート事業の導入が急務であると考え、町としてその必要性についてどのように認識しているか。 (2) 他自治体の事例を踏まえた導入検討について ファミリーサポート事業は、他の自治体で導入されており、住民からの一定の評価を得ている。このような事例を参考にし、当町でも同様の事業を導入することは可能であると考え、町として、他自治体の事例をどのように調査・分析し、導入に向けた検討をおこなっているのか。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
5	[1 番] 川上 りな	子育てについて	(3) 町民の意見やニーズ調査について ファミリーサポート事業の導入を進めるにあたり、町民の意見やニーズを十分に反映させることが重要だと考える。町として、子育て世帯や地域住民の意見を集めるための調査やヒアリングを実施したことはあるか。また、今後実施する予定はあるか。 (4) ファミリーサポート事業の導入に向けた段階的なアプローチについて ファミリーサポート事業を一度に大規模に導入することが難しい場合でも、段階的に実施する方法が考えられる。町として、このような段階的なアプローチを検討しているか。	町長
6	[3 番] 栗原 博久	1 町職員の福利厚生対策は適正に対処されているか 2 小中学生の不登校について	(1) 町職員の休職者が近隣市町村と比して高いとの指摘があるが、現在休職している職員数と休職期間はどうか。 (2) 休職職員の現場復帰についてどのような対応をしているか。 (3) 長期休職者に対して町として退職勧告は可能なのか。 (1) 30日以上欠席している児童生徒は県内で2023年度において5617人いると言われているが、聖籠町において不登校児童生徒は何人いるか。 (2) 不登校児童生徒の登校について町教育委員会としてどのような対応をしているか。 (3) 市町村によっては学びの多様化学校を設置するところがあるが、我が町は不登校児童生徒対策として独自の政策を考えているか。	町長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
6	[3 番] 栗原 博久	3 町歳出について適格、適正に予算執行がなされているか。	(1) 町補助金交付金について普通交付税の不交付団体としての我が町は、交付団体市町村と比して町独自の政策は可能であるか。 (2) ウッドショック資金の支出に当たって、その都度の予算案として年次議会可決を求めているが何故債務負担行為として事業着手年度に求めなかったのか。 (3) 監査委員として歳出について適格な監査対応をしているか。 (4) 認定こども園への負担金算定誤りによる過払い等について監査委員としてどう考えているか。	町長 代表監査 委員
7	[1 3 番] 手嶋 満	業務の引継ぎ状況について	それぞれの部署において長期的な視点で計画的に整備・管理する必要がある業務について、どの様に評価し引継ぎが行われているか何点か伺う。 (1) 情報関連見積りの妥当性評価について業務委託をしたが成果はあったか。また、今後も継続していくのか。 (2) 防災無線の保守点検について、保守点検時の費用見積りの妥当性は図られているのか。また、その引継ぎは担当課内で徹底しているか。 (3) 水道事業において管路及び設備更新は着実に進捗しているか。また管路の耐震化は計画通り進んでいるか。 (4) 現況の基金運用をどのように分析しているか。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁者
8	[2 番] 長谷川 進一	観光啓発施策等について	本町は、網代浜から次第浜までの白砂青松、宝積院等の名刹・旧家やサクランボや観光ぶどう園など風光明媚な町であり、訪れる人々も年々増加して人々の交流も向上している。これを更に充実し、町の良さ・素晴らしさを知ってもらい町民が故郷聖籠を誇りに思ってもらうためにも今後の観光施策等について何点か町長の所見を問う。 (1) 加治川堤の桜について 加治川堤の桜は新発田市と本町にまたがり、現在ソメイヨシノが約 2,100 本余り、日本一の桜並木である。開花期間中地元はもとより、県内外からも数万人が桜見物に訪れている。特に水門付近から飯豊・二王子岳方向への眺望は圧巻で他に類するものは無いものと思う。新発田市ではこれらを観光資源として、開花期間中は各種イベント等を開催し大好評を得ている。 しかし、本町はこうした素晴らしい景観が有るにも関わらず加治川堤の桜は本町の観光パンフレットやホームページでは殆ど掲載されていない。聖籠町をもっと広く PR し、この素晴らしさを県内外に発信すべきではないか。 (2) 加治川堤の桜の管理育成、環境整備について 加治川堤の桜は昭和 57 年頃当時の住民等の要望もあり新発田市、紫雲寺町、加治川村、聖籠町で加治川堤桜復元市町村連絡協議会を発足させ昭和 58 年から苗木を移植し現在に至っている。現在樹木の育成管理は新発田市及び聖籠町の各担当課で行っているが、ボランティア団体でも施肥・水やり、除草等を実施していると聞いている。本町の場合、他の観光に関する予算支出から比較しても僅かである。連絡協議会発足時の趣旨を再確認し、周辺整備等も含めて新発田市や関係機関団体等との協議等も必要ではないかと思うがどうか。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
8	[2 番] 長谷川 進一	観光啓発施策等について	(3) 加治川堤の活用について 健康は何事にも代えがたい大切なものの一つと考える。健康維持のため各屋内外において健康づくり運動も盛んである。この桜堤は車の通行もなく安全なため、ウォーキングなどで楽しんでいる人々も見受けられる。町社会教育・公民館事業として老若男女を問わず誰でも参加できる健康づくり事業等を計画してはどうか。 また、学校教育の一環として児童・生徒が先人に治水事業を克服し現在の聖籠町の立派な礎を築き上げた歴史を学び、町に住んでいることに誇りを持てるような環境を醸成すべきではないか。	教育長
9	[9 番] 青木 順	子育て環境について	令和 5 年第 3 回の定例会でも質問させてもらったが、昨今の急激な物価高騰のあおりを受け、より一層子育てや、ひとり親家庭の負担は増えていると感じている。令和 7 年度の予算が示され、町の子育て支援も拡充してきていると感じるが、現状と今後の展望について聞く。 (1) 令和元年度から令和 5 年度までおよそ 100 世帯前後で推移しているひとり親家庭について、令和 6 年度現在はどうなっているか。 また、子育てしやすい町として有名な町だけに、他市町村に比べ、ひとり親世帯の割合は高いのか。 (2) ひとり親の支援として、母子世帯向けの収入に応じた町営住宅があっても良いのではないかと考えるが、東山団地は雇用促進住宅として建設されたため、また施設の老朽化のため家賃の減免などは難しい状況だと町長は言っているが、令和 7 年度予算において、東山団地の設備更新の予算が盛り込まれている。改めて、家賃の減免制度などを検討できないか。	町長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
9	[9 番] 青木 順	子育て環境について	(3) 生活保護世帯のうち、ひとり親世帯の割合はどうなっているか。 (4) ヤングケアラーの実態はどうなっているか。 (5) 町のホームページはいつ完成か。また、ひとり親家庭向けに支援策がわかりやすくなるよう、探す人が見つけやすいホームページにしてほしいが、検討しているか。 (6) スポネットせいらうのひとり親家庭の会費の減免について、スポネットせいらうと町で協議できないか。 (7) 町独自のフードバンクがあれば寄付者も利用者も利用しやすくなると思うが、検討できないか。	町長 教育長